

せいいたいえんかんさつ
生態園観察マップ

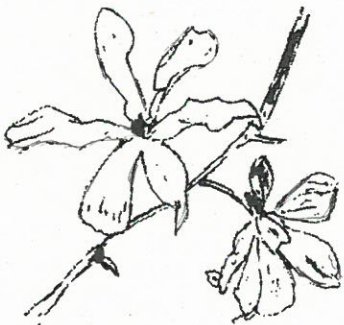
い み
* * 行ってみよう見つけてみよう * *

そうしゅんへん
早春編



オオイヌノフグリ

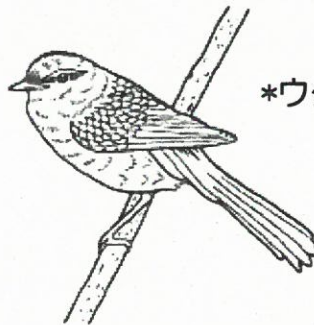
コブシはなの花



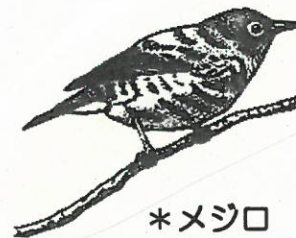
*ホトケノザ



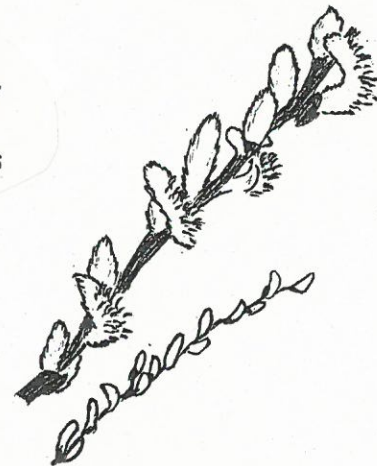
*カルガモ



*ウグイス



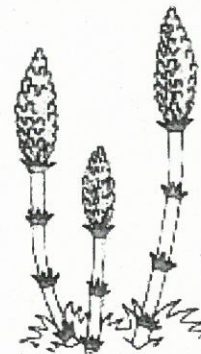
*メジロ



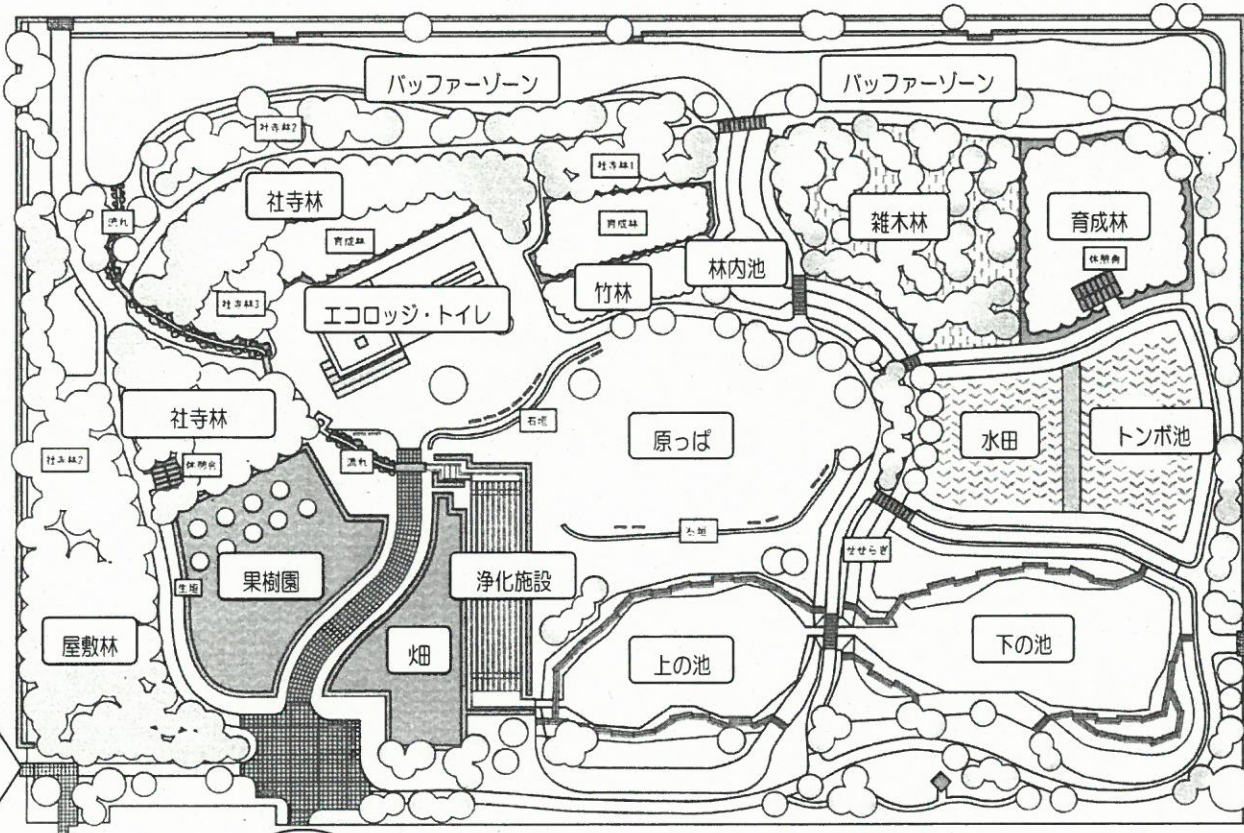
*フリソデヤナギ
はつめい
(別名 アカメヤナギ)



ツバメ



ツクシ



でいりぐち
出入口

てんぼうしつ
展望室

* 印については、裏しるしに説明うらがあります。
参考さんこうにしてみくだて下さい。

* フリソデヤナギ *

べつめい
(別名 アカメヤナギ)

バッファーズーンの水辺で

フリソデヤナギの花(雄花)

が咲いています。一般的にネコヤナギと呼ばれている白い毛がたくさん付いている部分は、小さい花がたくさん集まってできている花序という部分です。花が咲き出すと、花序は北へ曲がります。これは、日がよく当たる南側の花が急に雄しべを伸ばすからです。

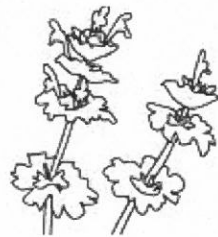
バッファーズーンのヤナギは、今ちょうどこの状態です。よく観察してみてください。



* ホトケノザ *

ホトケノザは、シソ科の野草で、四角い茎を抱く

ように葉が段々についています。その葉が仏像の台座(蓮華座)に似ていることから、名前がつけられました。首を伸ばしたように開いているふつうの花の他に、小さく、つぼみのような形の閉鎖花がたくさんついてます。閉鎖花は、開かず自家受粉して実を付けます。春の七草の中でいわれるホトケノザは、この花のことでなく、キク科のコオニタビラコのことです。



* ウグイス *

背中が茶色、腹は汚れたような白の小鳥です。



「ホー、ホケキョ」と鳴いて春を告げる鳥として親しまれています。舌打ちするように「チャツ、チャツ、チャツ」と鳴く地鳴きや、「ケケケケケキョケキョケキョ」という「谷渡り」といわれる声があります。「ウメにはウグイス」と言われますが、実際にウメの木にとまることは少なく、ウメの花の蜜を吸いに来ているメジロをウグイスと誤っている人も多いとされています。

* メジロ *

メジロの体は、きれいな黄緑色で、目の周りに白い輪があるのが特徴です。

スズメより小さな体で、首をかしげるようにして辺りを見回し、さえずる姿がとてもかわいらしいです。



* カルガモ *

マガモとほぼ同じサイズの大型のカモです。他のカモと

違い雄と雌がほぼ同じ色で、時期による色の変化もありません。体は黒みがかった茶色で、頭には特徴のある黒い線があります。くちばしは黒ですが、先端に黄色い部分があり、よく目立ちます。水草などを中心に食べて生活しています。



* コブシ *

コブシはモクレン科の落葉広葉樹の高木。

早春にほかの木々に先駆けて白い花を梢いっぱい咲かせる。果実にはぎりごぶし状のデコボコがある。それが名前の由来です。花は純白で基部は桃色の6枚の花弁を持ち、枝は折れやすく折れるとよい香りがします。樹皮は煎じてお茶の代わりや風邪薬として飲まれることもあります。



生態園マップ 2018 ** 早春編 **
どうぞゆっくり楽しんでください。

